

# **2007年3月期(2006年度) 第1四半期決算概要**

**2006年7月27日  
日本電気株式会社  
(<http://www.nec.co.jp/ir/ja>)**

### <将来予想に関する注意>

本資料には当社および連結子会社(以下NECと総称します。)の戦略、財務目標、技術、製品、サービス、業績等に関する将来予想に関する記述が含まれています。将来予想は、NECが証券取引所や米国証券取引委員会等の規制当局に提出する他の資料および株主向けの報告書その他の通知に記載されている場合があります。NECは、そのような開示を行う場合、将来予想に関するセーフハーバー(safe-harbor)規則を定めている1995年米国民事証券訴訟改革法(Private Securities Litigation Reform Act of 1995)その他の適用法令に準拠しています。これらの記述は、現在入手可能な仮定やデータ、方法に基づいていますが、そうした仮定やデータ、方法は必ずしも正しいとは限らず、NECは予想された結果を実現できない場合があります。また、これら将来予想に関する記述は、あくまでNECの分析や予想を記述したものであって、将来の業績を保証するものではありません。このため、これらの記述を過度に信頼することは控えるようお願いします。また、これらの記述はリスクや不確定な要因を含んでおり、様々な要因により実際の結果とは大きく異なりうることをあらかじめご承知願います。実際の結果に影響を与える要因には、(1) NECの事業領域を取り巻く国際経済・経済全般の情勢、(2) 市場におけるNECの製品、サービスに対する需要変動や競争激化による価格下落圧力、(3) 激しい競争にさらされた市場においてNECが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供し続けていくことができる能力、(4) NECが中国等の海外市場において事業を拡大していく能力、(5) NECの事業活動に関する規制の変更や不透明さ、潜在的な法的責任、(6) 市場環境の変化に応じてNECが経営構造を改革し、事業経営を適応させていく能力、(7) 為替レート(特に米ドルと円との為替レート)の変動等があります。将来予想に関する記述は、あくまでも公表日現在における予想です。新たなリスクや不確定要因は隨時生じるものであり、その発生や影響を予測することは不可能であります。また、新たな情報、将来の事象その他にかかわらず、NECがこれら将来予想に関する記述を見直すとは限りません。

本資料に含まれる経営目標は、予測や将来の業績に関する経営陣の現在の推定を表すものではなく、NECが事業戦略を遂行することにより経営陣が達成しようと努める目標を表すものです。

本資料に含まれる記述は、証券の募集を構成するものではありません。いかなる国・地域においても、法律上証券の登録が必要となる場合は、証券の登録を行う場合または登録の免除を受ける場合を除き、証券の募集または売出しを行なうことはできません。たとえば、米国において証券の公募が行われる場合には、1933年米国証券法に基づく証券の登録が行われ、NECおよび経営陣に関する詳細な情報ならびに財務諸表が掲載された英文目論見書をもって公募を行うことになります。

(注)1. 当社の連結決算は「米国会計基準」に準拠しております。

2. 本資料で使用している「営業利益」および「営業損益」は、日本基準に基づき表示しております。
3. 米国会計基準に基づき、2005年度に非継続となった事業に関し、2005年度第1四半期の連結財務情報を一部組替再表示しております。
4. 2005年度第1四半期の連結財務情報は、米国会計基準に基づくリストート後の数値を記載しております。
5. 新セグメントの内訳については、監査前の数字を概数表示しています。

\*フリー・キャッシュ・フローは営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローの合計です。

\*Net有利子負債は有利子負債から現金および現金同等物を控除しています。

# 組織改正に伴うセグメントの変更について

- 4月1日に組織改正を実施
  - NGN時代のビジネスチャンスへの対応力を強化し、成長戦略を加速
  - ITとNWの融合を加速する新たな組織体制へ移行
- 新セグメントは、新組織に基づくとともに、事業としての性質（顧客、事業モデルなど）の違いを反映

## 「IT/NWソリューション事業」

官公庁・企業（含む通信事業者）に、ユビキタス時代のインフラ、プラットフォーム、ソリューションを提供

## 「モバイル/パーソナルソリューション事業」

主に個人向けに、ユビキタス時代のユーザインターフェース（端末機器）やソリューションを提供

## 「エレクトロンデバイス事業」（変更なし）

# I. 決算概要

# 総 括

今期方針

## 中期的成長に向けた攻めへの転換

- ～NGN戦略への集中、グループ一丸となった取組み
- ～懸念事業ターンアラウンドの着実な推進

1Q進捗

グループ一丸となったスタートダッシュにより

- ①前年同期比 売上3%増
- ②営業損益の黒字化

→通期営業利益1300億円必達へ

# 成長に向けた施策の進捗

## ■ NGN関連

### ・受注促進

- 国内NGN納入ベンダ選定に対し商談好調:  
40GMUX\*、OADM、ルーター・スイッチ、IMS\*\*関連
- 海外キャリアからの受注: テレフォニカ向けサービス・プラット・フォーム

### ・製品化、技術開発成果

- 映像配信サービス業者向けにFOMA向け映像配信基盤発売
- 「NC9000シリーズ」(NGNの中核となる通信制御ソフト)発売
- 世界初の大規模ネットワーク向け品質劣化箇所推定法の開発

### ・標準化活動

- グローバルなIMSネットワーク機器相互接続検証試験「GMI2006」への参画

## ■ プラットフォーム事業強化

- ・マイクロソフト社、EMC社との戦略的グローバル協業
- ・次世代IT基盤を実現するITプラットフォームビジョンの確立

\*光回線多重化装置

\*\*固定網や移動体通信、放送などで提供されているサービスをIP技術で融合し、新たなマルチメディアサービスを実現するための仕様

# 07/3期1Q実績/上期予想サマリー

(単位:億円)

	1Q			上期		
	06/3期 実績 修正再表示後	07/3期		06/3期 実績 修正再表示後	07/3期	
		実績	前年同期比		予想	前年同期比
売 上 高	9,928	10,184	+ 2.6%	22,128	22,500	+ 1.7%
営業利益 (売上高比%)	-99 -1.0%	147 1.4%	+246	231 1.0%	* 250 1.1%	+20
税前利益	-158	129	+287	246	100	-146
当期純利益 (売上高比%)	-53 -0.5%	115 1.1%	+168	220 1.0%	100 0.4%	-120
1株当たり純利益:基本的(円)	-2.74	5.47	+8.21	* 前回予想比 +100		
フリーキャッシュフロー	-1,189	-691	+498			
株主資本	7,841	9,059	+1,218			
Net 有利子負債残高	7,983	5,882	2,101減			
Net D/Eレシオ(倍)	1.02	0.65	0.37改善			
株主資本比率	20.4%	24.3%	+3.9%			

\*予想値は2006年7月27日現在のもの

# 07/3期 セグメント別1Q実績/上期予想

(単位:億円)		1Q		
		06/3期	07/3期	
		実績	実績	前年 同期比
IT/NWソリューション事業	売上高	5,181	5,569	+7%
	営業損益	76	276	+ 200
	利益率	1.5%	5.0%	
モバイル/パーソナルソリューション事業	売上高	2,808	2,383	-15%
	営業損益	43	-101	- 144
	利益率	1.5%	-4.2%	
エレクトロンデバイス事業	売上高	1,816	2,040	+12%
	営業損益	-97	-24	+ 73
	利益率	-5.3%	-1.1%	
その他 / セグメント間消去他	売上高	124	192	-
	営業損益	-121	-4	+ 117
	利益率	-	-	
合計	売上高	9,928	10,184	+3%
	営業損益	-99	147	+ 246
	利益率	-1.0%	1.4%	

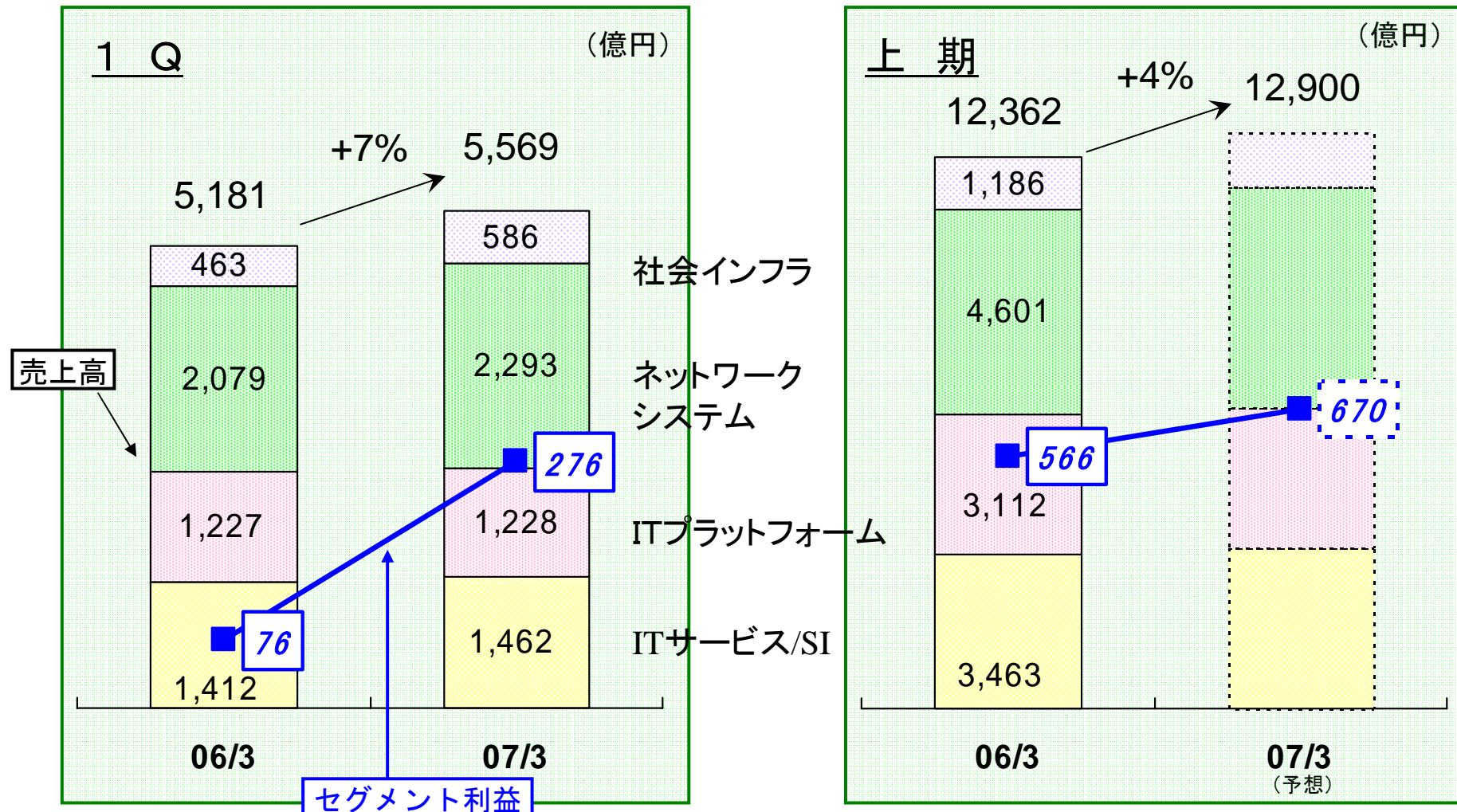
上期				
06/3期	07/3期	前年 同期比	前回 予想比	
実績	予想			
12,362	12,900	+4%	+ 500	
566	670	+ 104	+ 100	
4.6%	5.2%			
5,662	5,100	-10%	▲ 500	
-57	-190	- 133	+ 0	
-1.0%	-3.7%			
3,937	4,300	+9%	+ 0	
-95	-20	+ 75	+ 0	
-2.4%	-0.5%			
167	200	-	+ 0	
-183	-210	- 27	+ 0	
-	-			
22,128	22,500	+2%	+ 0	
231	250	+ 20	+ 100	
1.0%	1.1%			

\*予想値は2006年7月27日現在のもの

## III.セグメント別事業の状況

# IT/NWソリューション事業の状況

～ 増収(7%)増益。営業利益率約5%～



# IT/NWソリューション事業の状況

## ■ ITサービス/SI: 増収増益

### ◇ 市場環境

- ・マクロ景気好転を受け、IT投資は緩やかな回復傾向続く

### ◇ 当社動向

- 1Q : • 業種ごとにまだら模様あるも、全体としては売上は堅調  
• 不採算案件の抑制により、想定通りの利益を確保

- 通期 : • 堅調な売上伸長とSI生産革新により、営業利益率約8%  
を目指す

## ■ ITプラットフォーム: 売上、利益ともにほぼ前年並み

### ◇ 市場環境

- ・サーバなど価格低下圧力は依然厳しい

### ◇ 当社動向

- ・次世代IT基盤を実現する新製品(ex.NX7700i、シグマブレード)投入  
により売上伸長を目指す

# IT/NWソリューション事業の状況

## ■ ネットワークシステム： 昨年度からの堅調を維持し、 年間予想確保を目指す

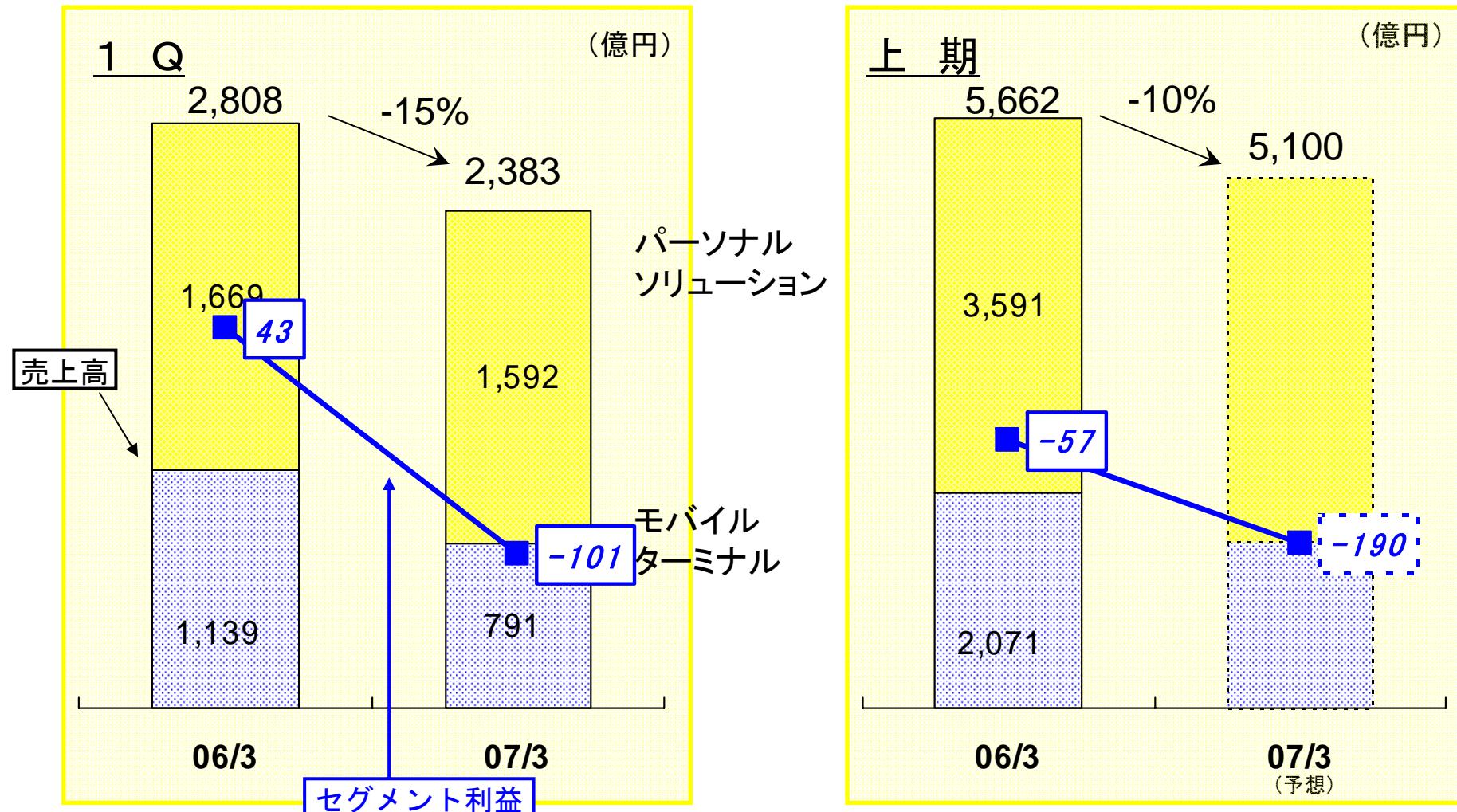
- ◇モバイルインフラはキャリアの投資が前倒し傾向。パソコンはアジア中心に伸長継続
- ◇固定インフラはNGNに向けたトライアル受注に注力
- ◇企業ネットワークは横ばい。セキュリティ、モバイル、中堅中小向けのソリューションを重点に事業拡大を目指す

## ■ 社会インフラ：プロジェクトの前倒しあり1Qは好調

- ◇地方向け地上デジタル放送は05年度ピークアウトも、前年同期比増加  
今後は、海外に事業機会拡大を期待

# モバイル/パーソナルソリューション事業の状況

～減収(15%)、減益。損益は期初想定線で推移～



\*予想値は2006年7月27日現在のもの

# モバイル／パーソナルソリューション事業の状況

## ■ モバイルターミナル：出荷減により損益低下するも想定線

- ◇ 1Q 出荷台数 170万台(前年同期比 3割減少)
  - ・国内：出荷台数2割減。出荷減等で利益が減少  
→今後は、アライアンスによる開発コスト削減で競争力改善に注力
  - ・海外：出荷台数半減。採算重視の出荷絞り込みを継続

## ■ パーソナルソリューション：国内PCはほぼ採算点に

### ◇ 市場環境

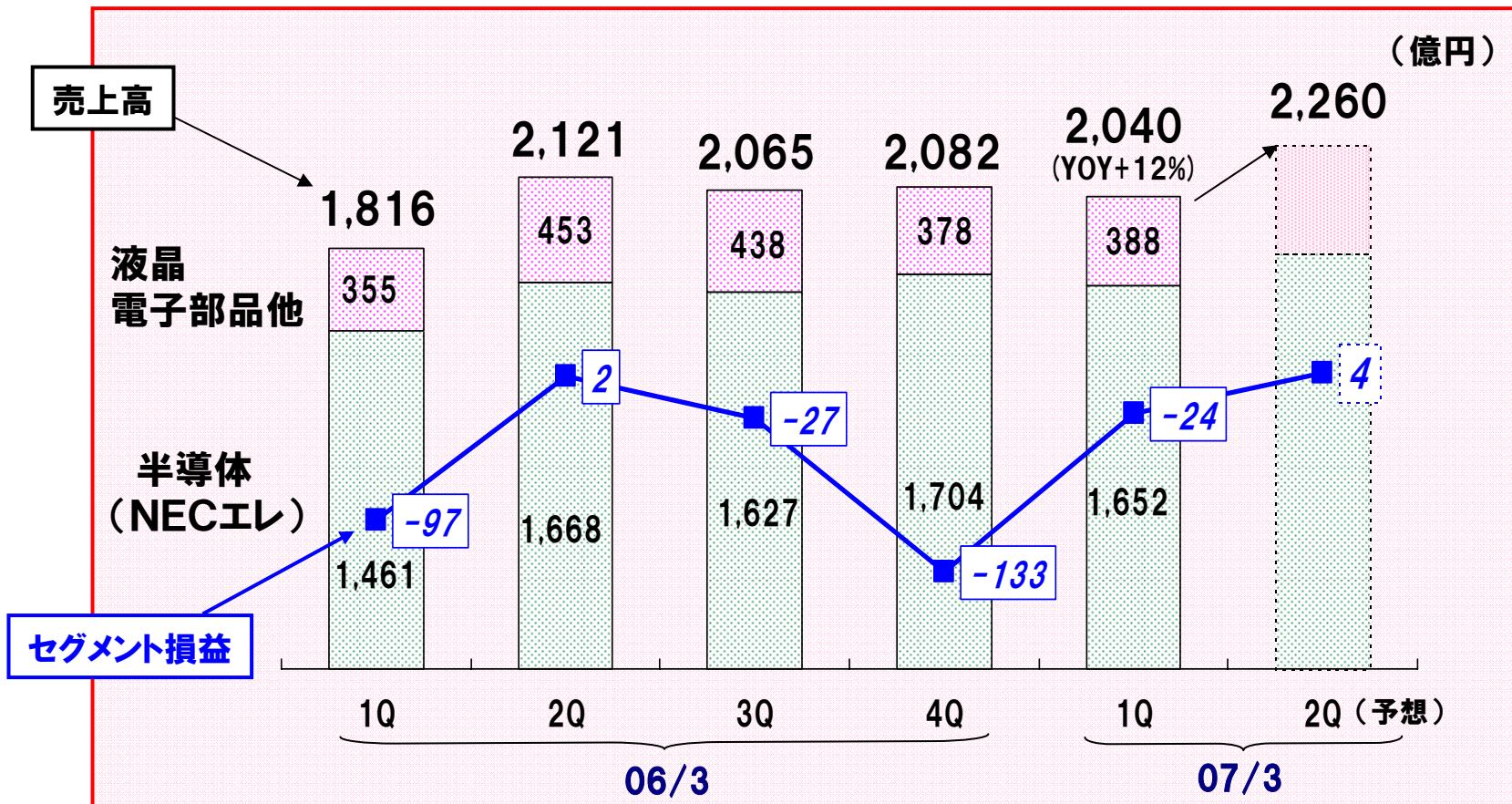
- ・ビジネスPCはリプレース需要の端境期で伸び悩み。  
コンシューマPCはデジタル家電に需要がシフトした影響により低調。

### ◇ 当社動向

- ・生産革新の継続、品質向上によるサポート費用減などで、  
1Qの国内PC事業はほぼ採算点へ回復

# エレクトロンデバイス事業の状況

～ 1Q実績はほぼ想定線、前年同期比は改善 ～



\*予想値は2006年7月27日現在のもの

# エレクトロンデバイス事業の状況

## ■ 半導体： 売上は回復傾向。2Qに向けてさらなる改善を計画。

### ◇ 市場環境

拡大基調が継続も、足元は地域・製品ごとにまばらな状況。

### ◇ 1Q実績

売上、利益ともに前年同期比で改善。

－ 売上は各製品分野で伸長。

－ 主にLCDドライバIC、汎用マイコンの売上が増加。

## ■ 電子部品その他（旧 液晶ディスプレイ+電子部品その他）1Q実績

◇ 液晶ディスプレイは前年同期比売上横ばい、安定収益を確保。

◇ 電子部品は、市場の拡大を背景にキャパシタ等の需要が増加。

# まとめ

今期方針

## 中期的成長に向けた攻めへの転換

- ～NGN戦略への集中、グループ一丸となった取組み
- ～懸念事業ターンアラウンドの着実な推進

1Q進捗

グループ一丸となったスタートダッシュにより

- ①前年同期比 売上3%増
- ②営業損益の黒字化

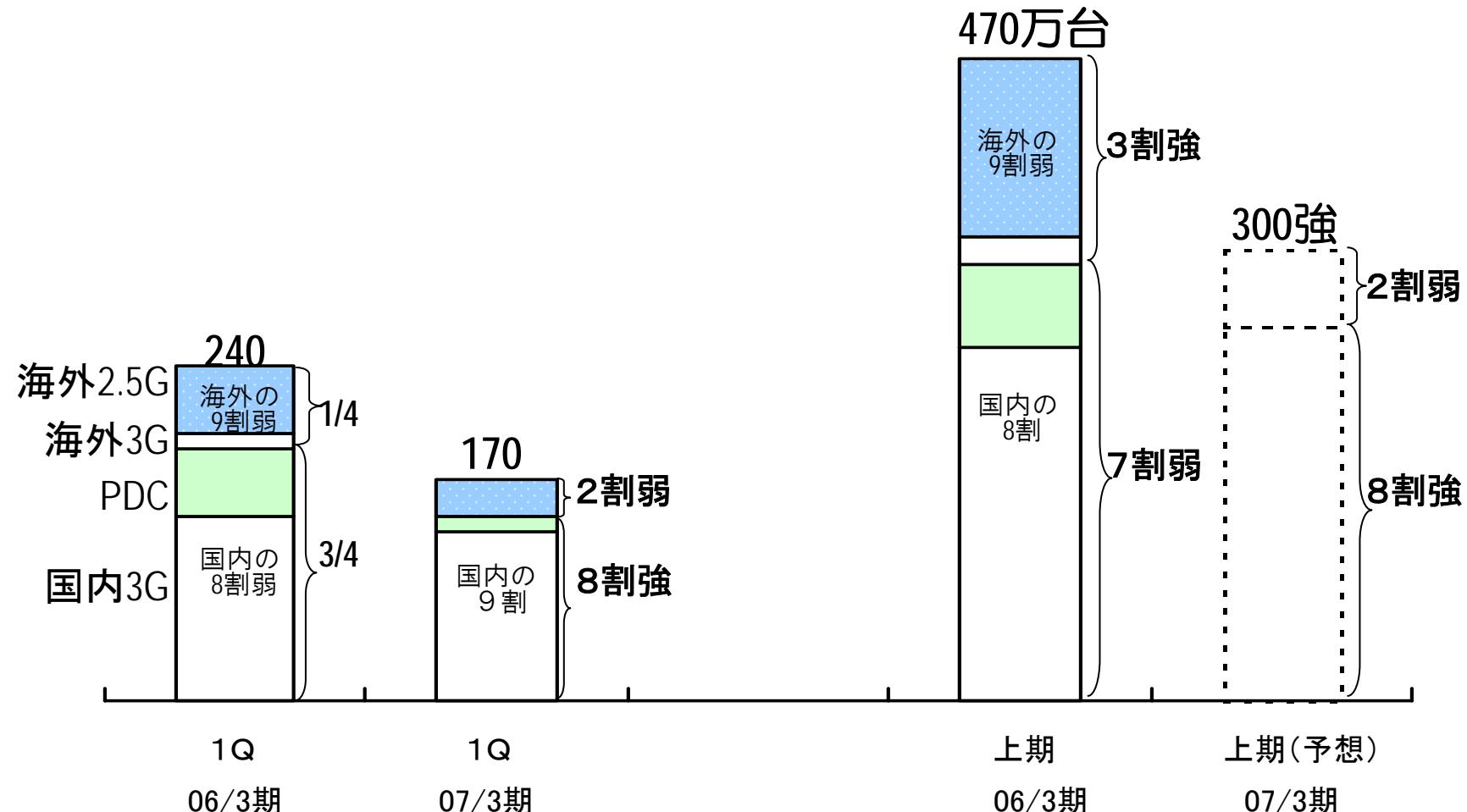
→通期営業利益1300億円必達へ

Empowered by Innovation

**NEC**

# モバイルターミナル出荷状況

携帯電話機 出荷台数推移



会計上要請される数値の公表とさせていただきます。

## ■ リステート後財務諸表

- 2002～2004年度（通期）… 公表済
  - 6/22に監査終了、訂正報告書提出
- 2005年度（通期）……………公表済
- 2005年度（第1四半期）… …本日公表
  - 『半期』については、今後公表予定（半期報告書の訂正）

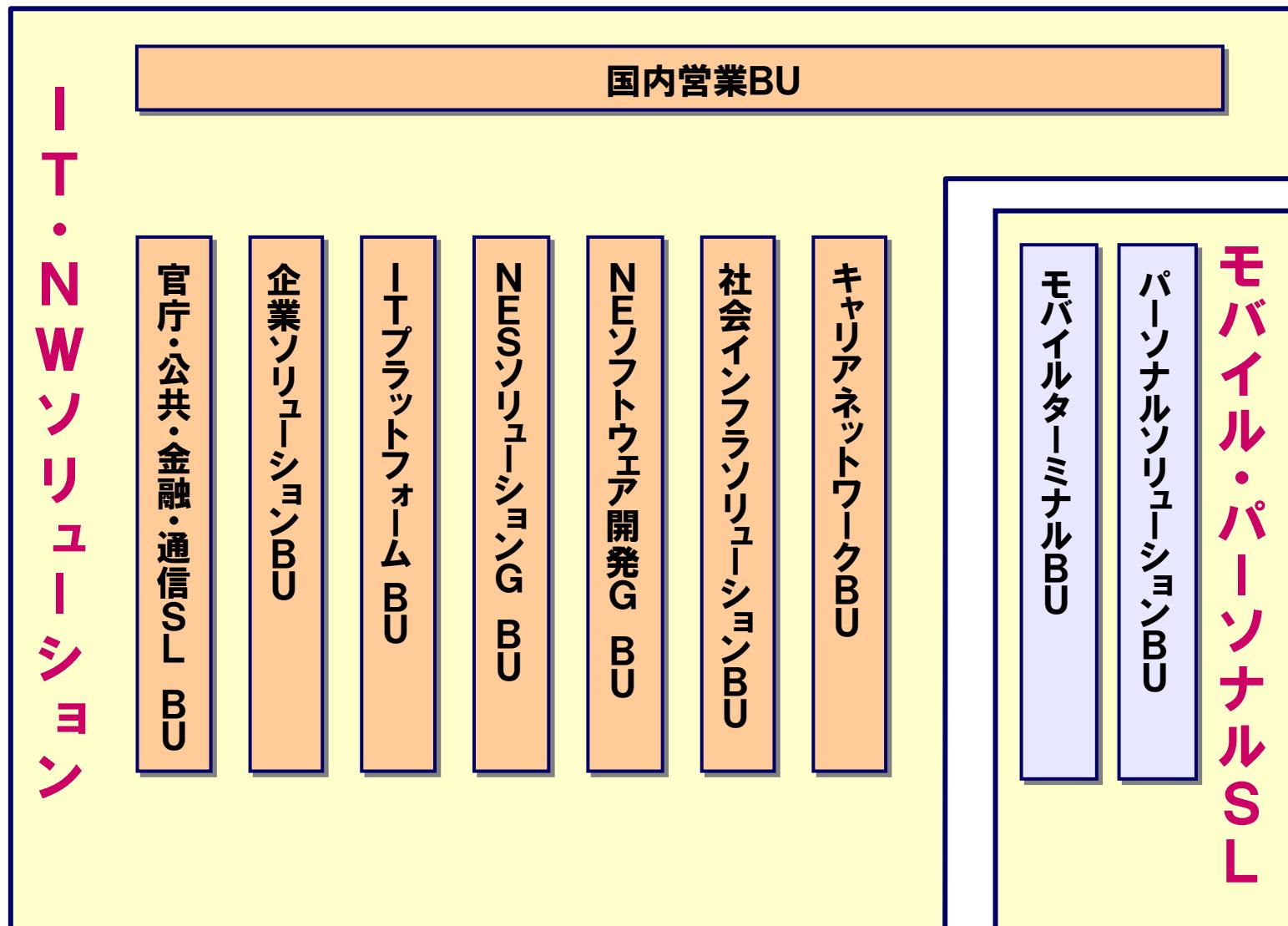
## ■ 新セグメントベース

2004年度からの開示（7/14に概算値を公表済）

- 2004年度 『通期』
- 2005年度 『四半期』『半期』『通期』

注：2005年度第1四半期業績および新セグメントベース数値は、会計監査人による監査を受けたものではありません

# 新セグメントとBUの関係

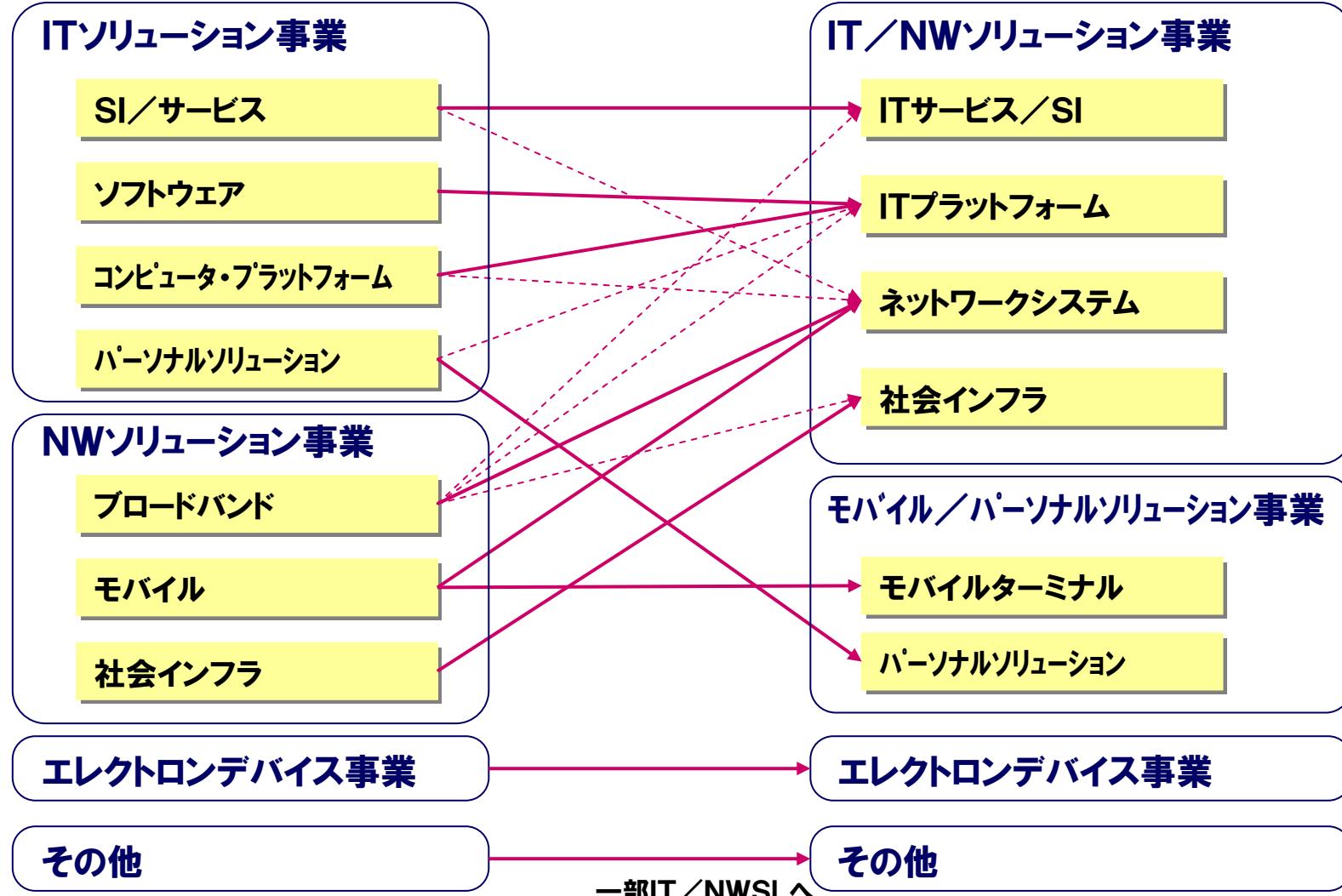


## 参考資料

# 新旧セグメント／サブセグメント対比

従来

新セグメント



上記の他に、組織間での事業移管、グループ会社の主管／連結部門の変更、セグメント変更にともなうセグメント間売上の増減などの影響があります

## 参考資料

## セグメント別業績推移(新セグメントベース)

(単位:億円)			05/3期			06/3期			07/3期			
			通期		実績	1Q		上期	通期	1Q		上期
			実績	実績		実績	実績	実績	実績	5月予想	予想	予想
IT/NWソリューション事業	ITサービス/SI	売上高	7,502	1,412	3,463	7,694	1,462					
	プラットフォーム	売上高	7,011	1,227	3,112	6,727	1,228					
	NWシステム	売上高	9,169	2,079	4,601	9,931	2,293					
	社会インフラ	売上高	2,947	463	1,186	3,143	586					
	IT/NWソリューション事業	売上高	26,629	5,181	12,362	27,495	5,569	12,400	12,900	27,900		
		営業損益	1,710	76	566	1,773	276	570	670	1,870		
		利益率	6.4%	1.5%	4.6%	6.4%	5.0%	4.6%	5.2%	6.7%		
	モバイル/パーソナルソリューション事業	Mターミナル	売上高	6,340	1,139	2,071	4,539	791				
		パーソナル	売上高	7,256	1,669	3,591	7,652	1,592				
		モバイル/パーソナルソリューション事業	売上高	13,596	2,808	5,662	12,191	2,383	5,600	5,100	11,600	
	エレクトロンデバイス事業	営業損益	-251	43	-57	-291	-101	-190	-190	-190		
		利益率	-1.8%	1.5%	-1.0%	-2.4%	-4.2%	-3.4%	-3.7%	-1.6%		
		エレクトロンデバイス事業	売上高	8,691	1,816	3,937	8,084	2,040	4,300	4,300	8,850	
	その他 / セグメント間消去他	営業損益	334	-97	-95	-255	-24	-20	-20	80		
		利益率	3.8%	-5.3%	-2.4%	-3.2%	-1.2%	-0.5%	-0.5%	0.9%		
		その他 / セグメント間消去他	売上高	-899	123	167	479	192	200	200	650	
	合計	営業損益	-374	-121	-183	-273	-4	-210	-210	-460		
		合計	売上高	48,017	9,928	22,128	48,249	10,184	22,500	22,500	49,000	
			営業損益	1,419	-99	231	954	147	150	250	1,300	
			利益率	3.0%	-1.0%	1.0%	2.0%	1.4%	0.7%	1.1%	2.7%	

\*予想値は2006年7月27日現在のもの